

第1学年 生活科学習活動案

指導者 1年1組 酒井 尚子
ひかり学級 松下由美子

- 1 単元名 あきの はっぴょうかいを しよう
～ほいくえんの ともだちを しょうたいしよう～

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、生活科の内容(5)「季節の変化と生活」、(6)「自然や物を使った遊び」、を中心に、(8)「生活や出来事の交流」を関連させたものである。

本単元では、自然の材料や身近にあるものを使った遊びを通して、季節の変化を感じ取り、素材と触れ合うことができるようにしていく。そうすることにより、「もっと遊びたい」という子どもの思いを実現し、やりたいことに夢中で取り組んだり、工夫したりすることができる考える。

また、保育園児に秋を紹介するために、「もっとさがしたい」「もっと知りたい」という思いにせまれるように、自然だけでなく、歌・詩などたくさんの「秋」について、探したり調べたりする活動も入れることにより、友だちと協力して秋と関わる楽しさを味わうことができる考える。そして、「知りたいこと」について、関連した図書を選んだり、本の中から知り得た情報を見つけたりすることもねらっている。

友だちと一緒におもちゃ等を作ったり、保育園児に紹介したりする活動を通して、人と関わることの楽しさや、自分の役割をやり通す責任感を養いたい。

(2) 児童観

子どもたちは、休み時間に友だちといっしょに体を動かして元気に遊んだり、生活科の学習で「きれいに さいてね」「なつだ あそぼう」と自然のなかで繰り返し活動したりすることによって、自然に目を向けて遊ぶ楽しさに気付いてきている。

5月にはあさがおの種まきや、野菜の苗を植え、観察を続けてきた。芽が出たときに、あさがおの芽と違う芽を見つけ、「先生、これ何の芽？」と質問してくるので、「何かな。調べてみたら。」と言うと、教科書や図鑑で調べていた。そして、「先生、ふうせんかずらの芽やった。」「ぼくのは、ひまわりやった。」と嬉しそうに報告してきた。その後、あさがおを観察する中でつるが支柱に巻きついたり、友だちのつると巻きあったりする様子を見てあさがおの成長の喜びや不思議さに気付いてきた。なすの実がついた頃、一人の児童が「なすのあかちゃんがさいちよる。」とすぐに走ってお知らせに来た。なすが大きくなると、なすを切ってビニールの中に入れ、塩を混ぜて揉み給食のときに食べることにした。「おいしい。」と普段野菜が苦手な子どもも収穫の喜びをみんなで味わうことができた。

また、「夏の花や野菜、生き物にはどんなものがあるかな？」と問いかけてみると、見つけ勉強で調べてきた子どももいた。

学校図書館の活用に関しては、国語の「どうやって みを まもるのかな」の学習で並行読書にも取り組み、お気に入りの動物の身の守り方についてまとめることができた。並行読書・学級文庫の本が近くにあることからすぐ手に取って読むことができるので、読書意欲も高まってきた。また、季節の生き物に関連した本（だんごむし・ほたる・みみずなど）の読み聞かせもしてきたことで、自分たちの身のまわりの生き物にも関心をもつことができた。

(3) 指導観

秋は、1年間の中でも自然の変化がはっきり見える季節である。秋をさがしたり、自然の中で遊んだりする中で、秋を体全体で味わえるようにしたい。また、木の葉や木の実、春にさした芋などを使ったおもちゃやかざり、料理などを作る活動も取り入れ、子どもたちが進んで調べたり、自分なりの発想で工夫して物作りができる喜びを味わえるようにしたい。

そして、自分たちが作ったおもちゃや飾りの作り方を教えたり、友だちから教えてもらったりするなど、友だちとの関わりをもつことを大切にしながら、わからないことやもっと知りたいことを尋ねたり調べたりする学習も取り入れ、来年入学してくる保育園児を「あきの発表会」に招待し発表を見てもらうことで、生活科のねらいである自立への基礎を養いたい。

3 単元の目標

- 進んで身近な自然と触れ合い、季節による変化や不思議さを感じとり、遊びや生活を楽しむことができる。
- 身近な自然や身近にあるものを使っておもちゃや飾り等を作り、楽しかったことや気付いたことなどを表現することができる。
- 保育園児との交流によって人と触れ合うことの楽しさや自分ができるようになったことに気付くことができる。

4 単元の評価規準

生活への関心・意欲・態度	活動や体験についての思考・表現	身近な環境や自分についての気付き
<ul style="list-style-type: none"> ・秋の校庭や公園がどのように変化しているか興味をもち、活動への見通しをもっている。 ・身近な自然や物を使って、遊びや遊びに使うものを作ろうとしている。 ・友だちや保育園児とかかわりながら、楽しく遊ぼうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた木の葉や実を使って、おもちゃやかざりをつくったりしている。 ・必要な材料や道具を準備し、集めた木の葉や実で、遊びに使うものを考え作っている。 ・保育園児に楽しんでもらえるように関わったり、方法を考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の変化に気付いている。 ・木の葉や実を使って遊びを工夫したり、遊びを創りだしたりするおもしろさに気付いている。 ・友だちや保育園児とかかわって遊ぶ楽しさ、友だちの良さや自分との違いに気付いている。

5 単元計画 25時間

時間	主な学習活動	評価規準 ☆評価方法
あきをみつけよう	<p>(1) 学校の校庭で秋見つけをする。①</p> <p>(2) 近くの公園へ行き、葉や木の実を集めたり、虫を探したりする。④</p>	<p>【関】 進んで秋のものを見つけようとしている。</p> <p>☆行動観察 発言</p> <p>【気】 季節の変化や秋の様子に気付いている。</p> <p>☆みつけたよカード 発言</p>
あきのたからものでおもちゃ・かざり・おやつをつくらう	<p>(1) 集めた木の葉や木の実、虫等の名前を調べ、どんなものが作れるか考える。①</p> <p>(2) 作りたいものを決め、作り方を考える。道具をそろえ、実際に作る。③</p> <p>(3) 作ったおもちゃ等を紹介し合い、楽しく遊ぶ。①</p> <p>(4) さらに改良して、おもちゃ等を作る。①</p> <p>(5) いもほりにいく。②</p> <p>(6) どんなおやつが作れるか考える。材料・作り方について聞いたり、調べたりする。①</p> <p>(7) みんなと協力して、実際におやつ作りをする。②</p>	<p>【思】 秋の自然の特徴を利用して、遊びを工夫したり、それらを使った遊びを考え作ろうとしている。</p> <p>☆発言</p> <p>【気】 木の葉や実を使って遊べることや、おもちゃ等が作れることなど、気がついたことを発言したり、カードに書いていたりしている。</p> <p>☆発言 みつけたよカード</p> <p>【気】 自分やクラスの友だちが作ったものの良さやがんばりに気付いている。</p> <p>☆行動観察 発言</p> <p>【思】 みんなで楽しく遊べるように、試しながらおもちゃ等を改良している。</p> <p>☆行動観察</p> <p>【関】 進んで芋掘りをしようとしている。</p> <p>☆行動観察 発言</p> <p>【思】 収穫した芋で、どんなおやつが作れるか、調べたり聞いたりしている。</p> <p>☆行動観察 みつけたよカード</p> <p>【関】 収穫したサツマイモの調理に進んで取り組もうとしている。</p>



<p>も っ と た く さ ん あ き を さ が そ う</p>	<p>(1)自分が保育園の友だちに教えてあげたいことを決める。①</p> <p>(2)発表会を楽しくするために、「秋」に関係するものを、集める。①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虫 ・歌 演奏 詩 など(本時) <p>(3)紹介カードや新聞などにまとめる。②</p>	<p>【関】保育園児に喜んでもらえるように、方法を考えたりしている。</p> <p>☆発言</p> <p>【思】発表会を楽しくするために、さらに「秋」に関係したものを集めたり、遊び方の説明の仕方を考えたりしている。</p> <p>☆行動観察 発言 みつけたよカード</p> <p>【思】保育園児が楽しく遊べるように、遊び方やさまざまな秋について、カードや新聞にまとめている。</p>
<p>は っ ぴ よ う か い を し よ う</p>	<p>(1)発表会の計画・準備をする。①</p> <p>(2)できた作品を飾る。① <作品・写真・絵など></p> <p>(3)発表会をひらく。①</p>	<p>【関】楽しい発表会にするために、友だちと協力して準備している。</p> <p>☆行動観察 発言</p> <p>【思】保育園児に分かりやすいように、工夫して展示している。</p> <p>☆行動観察</p> <p>【関】保育園児に秋の発表会を楽しんでもらえるように、声かけをしたり発表したりしている。</p> <p>☆行動観察</p>
<p>ふ り か え り を し よ う</p>	<p>(1)自分たちの活動を振り返り、感想を出し合う。①</p> <p>(2)保育園の先生からの手紙を聞く。①</p>	<p>【気】これまでの活動を振り返り、自分自身や友だちの成長やよさに気付いている。</p> <p>☆発言 作品</p> <p>【気】保育園児との交流を通して、自分の成長に気付いている。</p> <p>☆会話 お礼状</p>

評価規準：【関】 関心・意欲・態度

【思】 思考・表現

【気】 気付き










6 本時の学習（18 / 25）

(1) 本時の目標

- ・秋の発表会に向けて、いろいろな秋を集め、発表会の準備ができる。

(2) 本時の展開

学習活動	児童の意識の流れ	評価規準 ☆評価方法
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 グループに分かれて「秋」に関係するものを集める。</p> <p>3 グループごとに、調べたり、聞いたりしながら、準備に取りかかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本 ・写真 ・先生 <p>おもちゃ 歌 クイズ</p>  	<p>保育園児に楽しんでもらえるために</p> <p>もっとたくさん あきを さがそう</p> <p>保育園児に楽しんでもらえるように、おもちゃを改良しよう。</p>  <p>遊び方の説明を考えよう。 絵にかけば、わかりやすくなるよ。</p>  <p>秋の歌もうたえば、楽しくなるね。</p> <p>クイズを考えよう。</p>  <p>じゅんぴができたられんしゅうしてみよう。</p>	<p>【思】</p> <p>発表会を楽しくするために、さらに「秋」に関係したものを集めたり、遊び方の説明の仕方を考えたりしている。</p>
<p>4 グループごとに、どんな秋を発表するのかを交流し合う。</p> <p>5 次時の活動を確認する。</p>	 <p>おもしろそうだなあ。 たのしそう。</p>  <p>どんなふうにまとめようかなあ。</p>	<p>☆行動観察</p> <p>☆発言</p> <p>☆みつけたよカード</p> <p>☆しらべたよカード</p>

